



作／渡辺鶴  
演出／須永克彦

日時／二〇〇五年 九月 六・七日  
会場／上海話劇芸術センター D6スタジオ

一路上海へ。上海浦東空港に張女史はじめ上海話劇芸術センターの若いメンバーが出迎えてくれた。9月の上海は意外に涼しく過ごしやすい。舞台荷物を早々に3階D6スタジオに持ち込むが、当夜は深セン大学の公演があり、準備は夜中になるとのこと。早速センター主催の歓迎会が顔馴染みの鎮寧路の福園で始まる。お馴染みのスッポン料理も出てきた。宿は新築間もないホテルで私たち以外の参加劇団も宿泊していた。夜、深セン大学の「Looking for birds」を観劇。熊源偉先生指導の下、澆刺とした演技に好感が持てた。その撤去を待って準備に掛かる。舞台監督の張淵君を筆頭に若いスタッフが率先して協力。照明の檜山氏は「これ1台でホリ幕(舞台最奥の幕)が全部染まる!!」と巨大な中国器材に大喜び。徹夜覚悟で手伝いに集まった戯劇学院の学生たちは何だかウキウキお祭り気分。今日日本からやって来た私たちは、とても若い方々の徹夜の期待に応えられず、深夜2時には準備を終え、宿に引き上げた。

そして2日目。朝から準備を整え開幕を待つ。D6スタジオ前の開幕酒宴の席で、賑やかに亜洲当代戯劇季の開幕を宣言、いよいよ19:30、二人芝居「幸福」開演。前評判も良くチケットは既に完売、終盤に掛かると満席の観客は目を潤ませ、大きな拍手の内に無事演劇祭のオープニングを飾った。

3日目、総経理楊紹林氏主催の歓迎昼食会。演劇祭開催の指揮を執る超人気劇作家・喻榮軍氏、前年来神された芸術監督の呂涼、宋憶寧ご夫妻も同席。「幸福」をぜひ同センターの演目にしたいとのこと、もちろん快諾した。上海版「幸福」が楽しみである。

翌朝、ホテルの周辺を散策する。裏側の通りに小さな市場があり、そこで作りたての饅頭を購入。ふわふわのぬくぬく、安価で美味しかった。午後は宿舎を出て延安路の市場を訪ねた。中国の普通の人々の生活を垣間見ることができる市場は、新鮮な驚きで一杯だ。野菜から生肉、鮮魚まで有った。小スーパーもある。ローソン、セブンイレブンまである。ずいぶんと暮らし易く近代化された中国。途中、立ち寄った食堂、ここの焼きメシが美味しい。しかも安井。中国元5元(約65円)だ。昼食時には長蛇の列。あまりのおいしさに通訳の田村さんも誘い、翌日のその食堂に行った。やはり焼きメシは美味しかった。

今回も演劇祭は6ヶ国、11演目、29公演、参加アーティスト120名の大規模なものだ。「幸福」終了後も、連日他の作品を観劇。その夜は、シンガポールの戯劇盒「快樂」を観た。英国のオスカー・ワイルドを原作に、王子とツバメが登場する作品だ。演劇的動作も整理された美しい優れた作品であった。話劇センターの「偷心」は若手を中心にした不倫的恋愛劇。喻榮軍／作「人模狗祥」はパフォーマンスドラマで、動作は京劇の嚴慶谷氏が指導。楽しく拝見した。そして大劇場での韓国の実験劇場「黒いゴム靴」は神戸での上演より劇場が大きく、残念ながら濃密さが拡散していた。その他、米国の殷梅舞蹈団「河流」、台湾の創作舎「フガシャガ」、マレーシアの劇芸研究会「3人の子供達」を観劇。

そして最終日は、全員集まっての「演劇会議」。多数の意見が出されたが、今夏の成果を来年へ繋げて行こうとの意見に集約された。「来年もぜひ開催したい!!」との上海の熱心な申し出により、2006年も再び上海で開催される運びだ。

関西から始まったささやかな演劇交流が、アジアの人々の心に響き、広がっていく様子を間近にし、喜びと感動が込み上げた。今後も人と人の心を結ぶ演劇交流を心がけ、アジアの人々と共に大きな夢をふくらませていきたい。

# 永遠の幸福

- 平凡で偉大な生命の歌 -



上海話劇芸術センター 劇作家 喻榮軍

『幸福』は劇団道化座の訪中公演作品で、上海の夜に清々しい一篇の詩のように春の爽やかな風をもたらしてくれました。

多くの観客と同様、私も明るく爽やかで味わい深いこの作品が大好きです。

特に、須永克彦先生と馬場晶子さんは、楽天的で明朗な精神の登場人物を自由自在に生き生きと舞台上で表現され、その演技は観客たちにとっても好まれています。

『幸福』は舅と嫁の物語です。舅と嫁の敏感さ故に、邪推や憶測やデマが流れますが、二人の心にはつらさや孤独、困惑もあります。それでも生活は日々続けていかなければなりません。互いの努力により微笑が得られ、善良と理解が生まれます。そしてそこには彼らの平凡な幸せがあるのです。これは平凡で偉大な生命の歌です。異なる季節にはそれぞれの意味があります。穏やかな春、情熱的な夏、心安らぐ秋、去りゆく冬、人生はまるで四季のようです。でも、善良で穏やかな心を持てば、私たちの心の中の春は永遠に去らないでしょう。春がもう一度来る時、それが私たちの永遠の幸福なのです。